

平成24年度事業報告書

次のとおり当法人が平成24年度において実施した事業について報告する。

I 事業の状況

1 全般的な事業の状況

種苗の生産事業は、ヒラメ・クロソイ・クルマエビについて生産及び中間育成を行い、計画どおり配布することができた。

アワビについては生産数が需要数を下回る見込だったため、県外（北海道、愛媛県）から移入し、需要に対応したが、移入数は当初の見込数より少なくすんだ。

また、県水産振興センターで栽培したガザミ種苗の斡旋も計画どおり行った。

放流効果実証事業は、ヒラメ・マダイの種苗生産・中間育成を実施し放流した。放流数は計画数を上回ることができた。

放流効果調査（市場調査）も計画どおり実施した。

なお、年度当初、低気圧による暴風の影響により、栽培施設（岩館ヒラメ中間育成施設、戸賀のマダイ中間育成用生け簀部材）が被災したが、種苗生産に影響はなく、施設も復旧することができた。

2 各事業の状況

(1) 栽培漁業啓発普及事業

放流式を秋田県漁業協同組合北部総括支所（八森漁港）で開催し、種苗の生産・放流事業など栽培漁業協会の事業について啓発普及活動を実施した。

また、栽培漁業協会の事業内容を広報するため、ホームページを開設した。

(2) 種苗生産供給事業

① アワビ

配布時期	7月31日～1月31日		
配布種苗	平均殻長	20 mm	566, 976個
		30 mm	176, 420個
	計	20~30mm	743, 396個

② ヒラメ中間育成（放流・養殖）

配布時期	6月29日～7月13日		
生産種苗	平均全長	200 mm	2, 300尾（養殖）
		70～80mm	1, 500尾（放流）
		50 mm	20, 000尾（放流）
		60 mm	150, 000尾（放流）
	計	50~200 mm	173, 800尾

③ クルマエビ

配布時期	9月25日～9月27日		
県内	平均全長	25 mm	3,144,000尾
県外		25 mm	560,500尾
自主放流		25 mm	1,068,000尾
	生産種苗計		4,772,500尾

④ クロソイ (養殖)

配布時期	3月27日		
生産種苗	平均全長	100 mm	3,000尾

⑤ ガザミ (斡旋事業)

配布時期	6月25日～7月4日		
秋田県水産振興センターが生産した種苗を購入			
購入・配布種苗	平均全甲長	5 mm	1,395,000尾

(3) 放流効果実証事業

① ヒラメ

栽培施設：秋田県水産振興センター施設
 生産期間：4月3日～5月28日
 生産種苗：平均全長 24.3～27.9 mm 尾数：841,300尾
 中間育成施設：秋田県水産振興センター施設及び岩館中間育成施設
 中間育成期間：5月29日～6月24日
 放流日：6月25日～7月13日 平均全長 75.0～88.4 mm
 放流尾数計：224,900尾

② マダイ

栽培施設：秋田県水産振興センター施設
 生産期間：5月20日～7月23日
 生産種苗：平均全長 33.8～44.1 mm 尾数：849,600尾
 中間育成：7月19日～9月22日
 ア 秋田県水産振興センター施設
 中間育成期間：7月19日～9月22日
 放流日：9月14日～9月23日
 平均全長 78.7～84.5 mm 尾数：17,100尾
 イ 戸賀湾施設
 中間育成期間：7月24日～9月11日
 放流日：9月12日
 平均全長 84.4～91.5 mm 尾数：293,900尾

ウ 船川港椿漁港内施設

中間育成期間：7月19日～9月4日

放流日：9月5日

平均全長 78.0～81.4 mm 尾数：220,000尾

エ 金浦漁港内施設

中間育成期間：7月20日～9月6日

放流日：9月7日

平均全長 77.7～78.3 mm 尾数：82,000尾

放流尾数計：613,000尾

③ 放流効果調査及び資料集計

マダイ・ヒラメの市場調査

期 間：平成24年4月1日～平成25年3月31日

(4) 復興支援事業

東日本大震災で栽培施設が被災した岩手県の要請を受け、ヒラメ稚魚15万尾を生産した他、ヒラメの親魚養成をした。また、(社)岩手県栽培漁業協会の職員2人を受入、種苗生産業務に従事してもらった。

さらに、(財)宮城県水産公社の要請を受け、公社に採用された職員4人を技術研修員として受入、栽培技術や施設維持管理手法を習得してもらった。